

No.	推薦団体	氏名	市町村名	功績等
1	福島県テニス協会	さくま みつひろ 佐久間 光弘	南相馬市	昭和56年から昭和63年まで福島県テニス協会理事長(東北テニス協会理事長)を務め、ふくしま国体テニス競技会場を天栄村(レジーナの森)に誘致した。平成18年から現在まで相双テニス協会会長(福島県テニス協会副会長)として、南相馬市テニスコートの改修整備(砂入り人工芝14面)に尽力するなど本県テニス界の普及と発展に多大な貢献をした。 ○副会長16年 理事長8年
2	(一財)福島県サッカー協会	こいけ ただし 小池 征	郡山市	長年にわたり、総務委員長・副理事長として福島県サッカー協会の事業運営に携わり、2012年公益法人制度改革による「一般財団法人福島県サッカー協会」の設立に向けて、定款・基本規程の作成やガバナンス強化の視点からの評議員会の設置等に尽力した。会長就任後も協会運営に関してリーダーシップを発揮し、サッカー施設整備に関しては関係者と連携・協力して、素晴らしいサッカー環境を創り上げた。 ○会長6年 副会長2年 副理事長8年
3	福島県スケート連盟	ふくだ としお 福田 敏夫	石川町	福島県スケート連盟組織の発展や、選手育成・普及活動に大きく貢献した。 福島県スケート連盟において、副理事長を8年(2005～2012年)、副会長を7年(2015～2021年)務めた。 ○副会長7年 副理事長8年
4	福島県ソフトボール協会	てづか ひでかつ 手塚 英勝	石川町	福島県ソフトボール協会において、20年以上にわたり団体の運営及び競技の普及振興に努め、その功績は顕著である。平成12年から平成26年まで県南ソフトボール協会事務局長並びに福島県ソフトボール協会常務理事を15年、平成27年から現在まで県南ソフトボール協会会長並びに福島県ソフトボール協会副会長を7年、令和元年から現在まで東北ソフトボール協会理事を3年務めている。 ○副会長7年
5	福島県バレーボール協会	のじ まさはる 野地 雅晴	福島市	平成7年度に開催されたふくしま国体では少年男子監督として準優勝に導いた。平成8年度より福島県バレーボール協会指導普及委員長及び強化委員長を9年間務めたほか、平成17年度より公益財団法人日本バレーボール協会評議員を7年間、平成23年度より代表委員を9年間務めるなど本県バレーボール競技の普及発展及び競技力の向上に多大なる貢献をした。さらには平成19年度より福島県体育協会評議員を14年間務めた。平成17年度より福島県バレーボール協会理事長を16年間務め、加盟団体(小学生連盟・中学生連盟・高等学校体育連盟・クラブ連盟・ママさん連盟等)の指導を行うなど本県バレーボール競技の振興に尽力した。 ○副会長1年 理事長16年
6	福島県ボウリング連盟	さいとう けんじ 齋藤 憲治	伊達市	長年にわたり、福島県ボウリング連盟の事務局を担当し、現在は事務局長として連盟の要となっている。また、13年前からジュニアの指導者も務め、国体にも少年監督として出場し入賞に導くなど、本県ボウリング競技の普及発展及び競技力向上に大きく貢献した。 ○副理事長10年
7	県北地域連合会	いちじょう たかし 一条 高志	伊達市	長年にわたり、伊達市・保原町体育協会会長並びに伊達市・保原町バレーボール協会会長を歴任し、伊達市のスポーツ振興に貢献した。また、平成25年より8年間公益財団法人福島県体育協会理事を務め、本県スポーツの普及・発展及び競技力の向上に大きく貢献した。 ○会長6年 副会長19年
8	会津地域連合会	ほり さとる 堀 悟	猪苗代町	12年の長きにわたり、猪苗代町体育協会の運営並びに事業遂行に貢献した。 また、猪苗代町体育協会会長在職中には、猪苗代町にとどまらず、北会津管内体育協会連絡協議会や会津地域連合会で数々の役職を歴任し、会津地域のスポーツ振興と発展に貢献した。 ○会長10年
9	相双地域連合会	まなべ あきよし 真鍋 昭由	相馬市	相馬市体育協会副会長として、平成24年から現在まで10年以上にわたり、各種競技22団を統括するとともに、スポーツ施設新設等について市行政に積極的に嘆願するなど、団体の発展、地域住民のスポーツ振興に多岐にわたり多大なる功績がある。震災以降、相馬市はスポーツツーリズムを通じた集客により復興を目指しているが、その任にあたり自身の主管元であるソフトボール競技においては、各種大会開催はもちろん各種行事や学校関連のスポーツイベント運営等に先頭に立って取り組んでいる。 ○副会長10年
10	いわき市体育協会	しばの てるお 柴野 照夫	いわき市	平成23年度から令和2年度にわたり、いわき市体育協会の役員(副理事長・理事長)として、市民の健康増進や競技力の向上等、スポーツの振興・発展に多大なる貢献をした。 また、専門種目である「陸上競技」において、後進の育成や競技人口の拡大に尽力した。 ○理事長6年 副理事長4年